

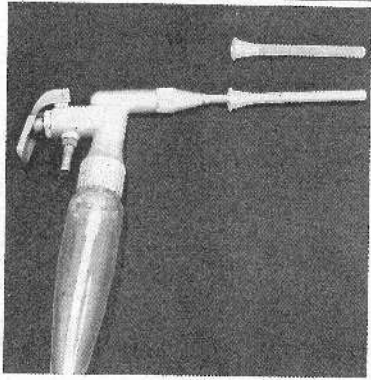
工業・医療用販売に注力

ストロー製造のシバセ工業

プラスチック製の飲料用ストローが主力のシバセ工業(岡山県浅口市)

は工業用・医療用の開発販売に力を入れる。新型コロナウイルス感染症拡大に対応し、耳鼻咽喉科で使う器具の使い捨てカバ―を商品化したほか、職場などの衛生管理を支援する商品を強化する。外食需要の低迷で飲料用製品の売り上げの落ち込みに対応する。

今春に商品化したのが、鼻に薬剤を噴霧するノズルに付ける使い捨てカバ―だ。従来は薬剤を患部に噴霧する際にノズ



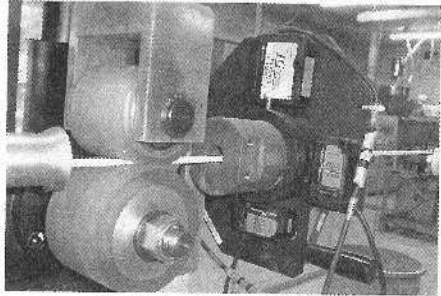
ウイルスの感染予防対策で需要が膨らんだ鼻用薬剤噴霧ノズルカバ―

「衛生管理徹底」で需要増

工業用・医療用ストローの実用例

工業用	スプレーストライプ	ノズル	機械部品	容器	ネジ
医療用	検査器具	ペーパー	ピペット	先端容器	医療ポ

ルを直接鼻孔に入れ、噴霧後ノズルを消毒して使う。多くの患者を連続して治療するため、「使い捨てのノズルカバ―をつくれぬか」という医療機器メーカーの要望に応えた製品だ。



上下左右に取り付けたレーザーセンサーでストローの外径を検査する装置

使い捨てのカバ―は医療器具を介した感染リスクを下げる狙いがある。4月だけで2万本(約120万円)を出荷するなど予想を上回る売り上げとなった。

工業用・医療用の製品としてスプレーストライプや医療器具のカバ―などを手掛けている。工場や医療機関などの衛生管理を徹底する需要は高まっており、顧客の声を参考に開発する。同社は「現在も4、5件進めており、単価は飲料用の10倍以上(営業部)としている。既存製品にも需要が高まっている。代表例はアルコール検知器用の専用ストローだ。ドライバ―の呼気中のアルコール濃度を測定する際に息を吹き込むマウスピースの代わりとなるもので、2008年に商品化していた。4月の売上額は110万円と前年同月比2.75倍になった。

工業用・医療用製品は特に精巧な特殊形状のストローが求められる。こ

こで威力を発揮するのは製造ラインに組み込んでいる自社で開発した製ストロー外径検査装置だ。製造するストローの直径が指定のサイズより0.1mm以上ずれると生産ラインから自動排除する。19年1月にクリーンルームを設置するなど工業用・医療用製品の増産が今後可能という。

20年3月期の売上高は4億6000万円。飲料用は海洋汚染などによる利用抑制の動きが懸念されたが、飲料用が3億1000万円と堅調で全体の約7割を占める。工業用・医療用は8000万円だった。

20年3月期の売上高は4億6000万円。飲料用は海洋汚染などによる利用抑制の動きが懸念されたが、飲料用が3億1000万円と堅調で全体の約7割を占める。工業用・医療用は8000万円だった。

シバセ工業は1926年に創業、精米業を軸に活動し、69年にプラスチック製のストロー生産を始めた。飲料向けで業績を伸ばし、このうちの業務用は国内シェアが6割を超える。従業員は53人。(田村雅弘)